

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア ： 視線が合わない		
		イ ： 人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ ： 相手の気持ちに関係なく行動する		
	状況の理解が難しい	エ ： 周囲に合わせて行動できない		
		オ ： 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ ： 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		
コミュニケーション	理解が難しい	キ ： 言葉で指示をしても行動できない		
		ク ： 言葉で指示されたことと違うことをする		
		ケ ： 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーリア）		
	発信が難しい	コ ： 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす		
		サ ： 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ ： 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
	やりとりが難しい	ス ： やりとりがかみ合わない		
		セ ： やりとりが続かない		
		ソ ： 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ ： やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
		チ ： 自分から動くことができない		
		ツ ： 予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ ： 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト ： 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ ： 活動を途中でやめたり、変更することができない		
	物の一部に対する強い興味	ニ ： 特定の物などへのこだわりや執着がある		
		ヌ ： 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない		
		ネ ： 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		
感覚	感覚が敏感または鈍感	ノ ： 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある		
		ハ ： 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある		
		ヒ ： 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある		
		フ ： 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ ： 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ ： クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特		

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 』				
		背景となる特性		支援のアイデア
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い		汲み取ってもらう、察してもらうで A) はなく、具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に B) 伝える（見え方の視点・やりとりの視点） 「いつ」「どこで」「何を」の情報 C) を見てわかるように伝える （方法の視点・やりとりの視点）
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい		
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい		
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い		
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい		
		6) 見えないものの理解が難しい		
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい		本人が理解できる見える情報（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）で伝える（やりとりの視点） 本人が発信しやすいツールを（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）提供する（やりとりの視点） 視覚的なツールでやりとりができるようにする（やりとりの視点・見え方の視点）
		8) 一度にたくさんのことを理解するのが難しい		
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい		
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい		
		11) どのようにして伝えたらいいかわからない		
		12) 誰に伝えていいかわからない		
	やりとりが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい		
		14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい		
		15) やりとりの量が多いと処理が難しい		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	16) 段取りを適切に組むことが難しい		G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える（時間の視点） H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする（時間の視点・場所の視点） 活動に意味や目的を持つことができる I) 工夫をする（方法の視点） J) 最初から正しい方法で行うことができるようにする（方法の視点）
		17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい		
		18) 今やることを自分で判断することが難しい		
	変化への対応が難しい	19) 先の予測をすることが難しい		
		20) 臨機応変に判断することが難しい		
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい		
	物の一部に対する強い興味	22) 興味関心が狭くて強い		
		23) 細部が気になり違いに敏感		
		24) 少しの違いで大きな不安を感じる		
感覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある		K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする（場所の視点） L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する（場所の視点）
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある		
		27) 触覚の過敏や鈍麻がある		
		28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある		
		29) 味覚の過敏や鈍麻がある		
		30) 前庭覚の特有の感覚がある		

		例	✓	本人の具体的な行動	背景となる特性	支援のアイデア
社会性	人や集団との関係に難しさがある	視線が合わない			<input type="checkbox"/> 相手への関心が薄い	<input type="checkbox"/> 自分と周囲との関係や感情などを見る形で伝える
		人との関わりが一方的であることが多い			<input type="checkbox"/> 相手から期待されることを理解することが難しい	<input type="checkbox"/> 汲み取ってもらう、察してもらうではなく、具体的に伝える。
		二人でいることを好む			<input type="checkbox"/> 人と関わることに対する不安が大きい	<input type="checkbox"/> 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える。
		人が多いところや騒がしいところで落ち着かなくなる			<input type="checkbox"/> 相手の立場や気持ちをとらえきれない	<input type="checkbox"/> 自分の心と体を休められる場所を用意する
		集団での活動や遊びに入りたいがならない			<input type="checkbox"/> 周囲で起こっていることへの関心が薄い	<input type="checkbox"/> 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える
	状況の理解が難しい	人と関わることに不安が大きい			<input type="checkbox"/> 人の多いところが苦手である	<input type="checkbox"/> 着目すべき場所を強調する
		周囲にどのように見られているか興味が無い			<input type="checkbox"/> 複数の人といっしょに活動することが苦手である	<input type="checkbox"/> 一つの場所を多目的に使わないようにする
		相手の気持ちに関係なく行動する			<input type="checkbox"/> 周囲から期待される行動を理解するのが苦手である	<input type="checkbox"/> 「どうやって」「どうなったら終わり」「次に何をする」をわかるように困ったときに誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える
					<input type="checkbox"/> 他者に求められていることと自分に求められていることの区別	<input type="checkbox"/> 環境を整え、周囲の刺激や情報を少なくする
					<input type="checkbox"/> 待つことが苦手である	<input type="checkbox"/> 活動の量やジグなどの工夫をする
コミュニケーション	理解が難しい	言葉で指示を出しても行動できない			<input type="checkbox"/> 独特の見方や考え方があり、提示された方法を取り入れにくい	<input type="checkbox"/> 椅子や材料などの配置を工夫する
		決まった場面での言葉はわかるが状況が変わるとわからない			<input type="checkbox"/> 手がかりが変わるとわからなくなり、応用が難しい	
		言葉の理解が部分的で全体をつかむことができない			<input type="checkbox"/> 文字や数などの理解が難しい	
		言葉で指示されたことと違うことをする			<input type="checkbox"/> 相手と同じものを見て共感することが少ない	
		相手の表情や視線等に反応が少ない			<input type="checkbox"/> ひとつの活動への集中を持続することが難しい	
	発信が難しい	相手の特定の表情や視線等に極端な反応を見せる			<input type="checkbox"/> いつまでどのくらいやるのか、終わりの理解が難しい	
		言葉の量が多いと理解できない			<input type="checkbox"/> どこを見たいのか、どこで活動したらいいかわからない	
		相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーリア）			<input type="checkbox"/> 見える範囲が狭い（目に入っていないところがある）	
		言葉に対して自分なりの解釈をする			<input type="checkbox"/> 別のところに視点を移すことが難しい	
		「ちょっと」「ゆっくり」「少し」などの曖昧な表現が理解できない			<input type="checkbox"/> 周囲の刺激や情報に引っ張られやすい	
やりとりが難しい	行動や仕草などで自分の気持ちを現わす			<input type="checkbox"/> 見えないものの理解が難しい		
	言葉で自分の気持ちを伝えることができない					
	コマーシャルやアニメの台詞を繰り返す					
	独特な言い回しで気持ちを伝える					
	言葉の特定の機能だけしか使えない（要求のみ、あいさつのみ）					
想像力	自分で予定を立てることが難しい	返事が相手の言葉の繰り返しになることが多い（エコーリア）			<input type="checkbox"/> 話し言葉の理解が難しい	<input type="checkbox"/> 本人が理解できる見える情報（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物）
		この場所ではこの台詞、この人とはこの台詞とお決まりの台詞が多い			<input type="checkbox"/> 一度にたくさんさんのことを理解するのが難しい	<input type="checkbox"/> 伝える量に配慮する
		文法が使えない（単語、二語文等）			<input type="checkbox"/> 抽象的であいまいな表現の理解が難しい	<input type="checkbox"/> 伝える速さに配慮する
		言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない			<input type="checkbox"/> 言葉処理するのに時間がかかる	<input type="checkbox"/> 理解できるまで待つ
		指さしや相手の手を取って（クレーン）要求を伝えようとする			<input type="checkbox"/> 相手の話の全体ニュアンスを理解することが難しい	<input type="checkbox"/> やりとりをしやすい環境を作る
	変化への対応が困難	やりとりがかわみ合わない			<input type="checkbox"/> 相手の表情や視線、声質などから意図をとらえることが苦手で	<input type="checkbox"/> 本人が発信しやすいツールを提供する（文章、単語、絵、写真、シンボル）
		やりとりが続かない			<input type="checkbox"/> 話し言葉で伝えることが難しい	<input type="checkbox"/> だれに、どうやって伝えるか具体的に示す
		唐突に話し始めたり、黙り込むことがある			<input type="checkbox"/> どのようにして伝えたらいいかわからない	<input type="checkbox"/> 忘れたときに思い出す工夫を用意する
		自分が知っていることは相手も知っていると言う前提で話すことがある			<input type="checkbox"/> 誰に伝えていいかわからない	<input type="checkbox"/> 視覚的なツールでやりとりができるようにする
		理解と発信のアンバランスが大きい			<input type="checkbox"/> 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい	<input type="checkbox"/> 本人の処理速度に合わせて会話の場の設定をする
物の一部に対する強い興味	やることかできないときにウロウロしている、しっどしている			<input type="checkbox"/> 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい		
	やることかできないときに、問題となる行動が出るが多い			<input type="checkbox"/> やりとりをする量が多いと処理が難しい		
	自分から動くことができない			<input type="checkbox"/> やりとりをすることを自体の意味がわからない		
	いつも周囲に含ませて行動している					
	自分がやりたいことに執着する					
感覚	自分での対応が困難	予定の変更で混乱することが多い			<input type="checkbox"/> 見通しが持てないことに不安を感じる	<input type="checkbox"/> 本人に分かりやすく予定や変更を伝える
		自分のルールを変えると混乱することが多い			<input type="checkbox"/> 段取りを適切に組むことが難しい	<input type="checkbox"/> 始まりや終わりが分かりやすいようにする
		日課が変更されると混乱することが多い			<input type="checkbox"/> なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい	<input type="checkbox"/> 変更の伝え方を統一する
		担当者が変更されると混乱することが多い			<input type="checkbox"/> 今やることを自分で判断することが難しい	<input type="checkbox"/> 忘れても確認できるように、手がかりが見えるようにする
		活動や食事等の場所が変わると混乱することが多い			<input type="checkbox"/> 優先順位をつけることが難しい	<input type="checkbox"/> 本人の興味関心に合わせた提示（ごほうびの活用）を行う
	物の一部に対する強い興味	新しい場面や活動のときに混乱することが多い			<input type="checkbox"/> 初めての場面が苦手である	<input type="checkbox"/> 活動に興味や目的をもたせる工夫をする
		活動を途中でやめたり、変更することができない			<input type="checkbox"/> 先の予測をすることが難しい	<input type="checkbox"/> 最初から正しい方法で行うことができるようにする。
		特定の物などへのこだわりや執着がある			<input type="checkbox"/> 臨機応変に判断することが難しい	<input type="checkbox"/> 変わらないものは習慣化する（ルーティンを活かす）
		自分の興味があるもの以外に関心を示すことが少ない			<input type="checkbox"/> 自分のやり方から抜け出すことが難しい	
		細かいことが気になって活動が途中で止まることがある			<input type="checkbox"/> 興味関心が狭くて強い	
感覚	感覚が敏感または鈍感	新しい場面や活動のときに混乱することが多い			<input type="checkbox"/> 細部が気になり違いに敏感	
		活動や食事等の場所が変わると混乱することが多い			<input type="checkbox"/> 少しの違いで大きな不安を感じる	
		特定の臭いを好む、特定の臭いを嫌う、など			<input type="checkbox"/> 情報の多いものの処理が苦手である	
		クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、など			<input type="checkbox"/> 複数の情報を同時に処理することが苦手である	
		気温や気圧への変化に敏感、など			<input type="checkbox"/> 今あるいはさっきのことをすぐに忘れてしまう	
感覚	感覚が敏感または鈍感	体感温度が低い、など			<input type="checkbox"/> 過去のできごとが忘れられない	
		特定の臭いを好む、特定の臭いを嫌う、など			<input type="checkbox"/> 部分的な処理が強く全体の理解が苦手である	
		クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、など			<input type="checkbox"/> ものごとく関連性をとらえにくい	
		気温や気圧への変化に敏感、など			<input type="checkbox"/> 見えないものの理解が難しい	
		体の使い方が不器用、など				
感覚	感覚が敏感または鈍感	特定の感覚に没頭する、極端に嫌がる、感じていないような行動がある			<input type="checkbox"/> 聴覚の過敏や鈍麻がある	<input type="checkbox"/> 苦手な刺激を少なくするための配慮をする
					<input type="checkbox"/> 視覚の過敏や鈍麻がある	<input type="checkbox"/> 好きな刺激、必要な刺激は保障する
					<input type="checkbox"/> 触覚の過敏や鈍麻がある	<input type="checkbox"/> 他刺激で代用をするなど、強く危険な刺激や好き過ぎる刺激への配慮を講じる
					<input type="checkbox"/> 嗅覚の過敏や鈍麻がある	<input type="checkbox"/> ストレスレベルに配慮する
					<input type="checkbox"/> 味覚の過敏や鈍麻がある	<input type="checkbox"/> 避難場所の確保を行う

項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（言葉・指さし・実物・紙に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 支援をするときの立ち位置は適切ですか その他	
物	見ると勘違いするような物がありますか 見えると気になるような物が見えていますか 物の量で気づいたことはありますか その他	
場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていますか 同じ場所で複数の目的の活動をしていますか 整理整頓はできていますか 気が散りやすい環境になっていませんか その他	
状況	本人の体調はいつもと比べてどうですか その活動の前に気になるできごとはありませんでしたか その活動の内容に本人の苦手な動作や感触などが含まれていませんか その活動の目的（どうするのか、どうなったら終わるのかなど）は理解 できていますか	
音	その場所にはどんな音がしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
気温	その場所の気温は何度くらいでしたか（あるいは暑かった・寒かった 等） その気温は本人にとって快適なものですか	
湿度	その場所の湿度は何%くらいでしたか（あるいは蒸していた・乾燥して いた等） その湿度は本人にとって快適なものですか	
臭い	その場所にはどんな臭いがしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
その他	その他本人が不安定になる要因になるかもしれないもの	

本人の強み（ストレングス）	活かせそうな場面や状況
わかること・できること 例）なくなったら終わり、ペットボトルのふたを開ける ハサミを使うのが上手 など	
好きなこと（遊び方、過ごし方、キャラクターなど） やりたがること 例）ハンモックで揺れる ○○のキャラクター ピッタリはまる 色を合わせる	
得意なこと（これには助けられているなど） 見方を変えれば得意かもしれないこと 例）目的がわかれば待つことができる 変更は苦手だがいつもと同じことはできる	
その他	

名前：田中正則さん(仮名) 年齢：32歳 性別：男性
 診断名：自閉スペクトラム症 重度知的障害 IQ:30
 利用しているサービス：共同生活援助・生活介護・行動援護

【主な生活歴】

言葉の遅れと多動傾向から3歳児検診時に発達遅れを指摘され発達外来を受診し、自閉スペクトラム症との診断を受ける。言葉をコミュニケーションの道具として使えず、常に多動で落ち着きがなかった。就学前まで地元の保育園に通っていたが、他の子どもに興味を示さず、集団活動にうまく参加できなかった。特定のおもちゃに固執することや、状況の変化が小学校より特別支援学校に行くようになり、高等部まで同じ特別支援学校に通学した。高等部卒業後、自宅より生活介護事業所に通うようになり、30歳の時にグループホームに入居。現在はグループホームから生活介護事業所に通所し、休日はヘルパーとの外出を楽しんでいる。

【普段の生活】

田中さんは、グループホームでは毎日決まった日課に沿って過ごしています。食事は他の入居者と一緒に食べますが、他の時間は自分の部屋でキラキラした好きなおもちゃを見ながら静かに過ごしたり、ときどき好きなアニメの動画を繰り返し観て楽しんでいます。生活介護事業所では、1人でできる作業を中心とした活動に取り組んでいます。活動の中でも職員と車でドライブに出かけることをとても楽しみにしています。休日には、グループホームの自分の部屋で過ごしていることも多いですが、月に1～2回は行動援護を利用してヘルパーと一緒に近所の公園や、外食に行くことを楽しんでいます。

【主な行動上の特徴】

言葉をコミュニケーションとして使うことはほとんどなく、周りからの声かけに反響言語（エコラリア）で返すことがよくあります。

外出先でトイレマークを見て自分から入っていくことがあるので、マークを手がかりにして動いている時もあるようです。絵本に載っている車のイラストを見て、「お出かけ」と言いながら外に出ていこうとすることもありました。同じマークを見つけると重ねて遊んでいる聴覚に過敏さがあり、外出時や騒がしいところでは手で耳をふさいでいます。

身体の使い方がぎこちなく、体が傾いたような歩き方をしています。

キツキツするものが好きで、部屋でキツキツする物が入ったおもちゃを9つと見ていることもあります。また、柔らかいものを触ったり水を触ったりして、その感覚を楽しんでいることもあります。特に水が見えると必ず触りたがり、水を触り始めるとなかなかやめられないときもあります。行動援護で出かけた時に水遊びをヘルパーに止められて頬を叩く自傷をすることがありましたが、最近はタイマーを使って水遊びも自分でやめることができるように体を揺らす感覚も好きなので、体を前後に揺らしていることもあります。

普段は穏やかに過ごしていて、慣れていることや本人が分かっている活動などは落ち着いて取り組むことができますが、本人にとって思いがけないことや、急な変更があると混乱してしまいます。混乱すると表情が硬くなり、動きが止まることもあり、混乱が大きいと頬を叩く自傷をすることもあります。また、支援者に何度も同じことを確認することもあります。